


令和 2 年 1 月 22 日 (水)		天気 晴 れ
行事		<写真のコメント>
<p>季節の掲示物をお部屋に飾ってみました。朝登園してくると、「あ！鬼や！」おにーのぼんつは♪と掲示物に興味を示して嬉しそうに手に取るお友だちの姿がありました。また鬼のお面が飾ってあることに気が付くと、「がおー鬼だぞ〜」きゃー！とお面を顔に近づけて鬼の真似をして楽しんで微笑ましかったです。お部屋では他にも、最近うどんへの興味が広がっているため、うどんの作り方や色々なうどん料理のカードをお部屋に飾ってみました。「〇〇はたまごの、うどんがいい。」「おにー、いっぱいなのよ！」「うどんのトッピングはどれがいいかな」とお友だちと集まって話している楽しそうな声が聞こえてきました。うどんのお話しをしている中で、うどんの作り方を見たお友だちから「うどん作りたいな…」という声が上がりました。そこで小麦粉粘土を用意してみました。うどんの作り方を自分達でみながら「まずはー、こねこねして。」「足でぎゅってするのは、どうやってするの？」「うどん、ねんねするんだよ。」「自分達でうどんを作っている中でどうやってするんだろう。と考えている場面では保育士がビニール袋や玩具のへらをそと傍に置くと、「ここに、入れたらいいんちゃう？」「できるよ！」「自分達で考えて工夫する類もしい姿がありました。袋に入れた粘土を足で踏んだり、へらで粘土を細く切ってお皿に入れたり、素敵なうどんができていました。</p>		<p>(左)節分の掲示物に興味を示していました。鬼のお面を顔に当てると、「がおー！」「めめ！えい！」とお友だちと楽しむ姿がありました。(真ん中)うどんの作り方の紙をじっくりと見ていました。作り方の紙を見ながら、小麦粉粘土で形を作っていました。(右)「次はこうかな？」「ぎゅってしたら、ねんねだよ。」「作り方の紙を見ながら、小麦粉粘土を袋に入れて踏んだり、切ってうどんを作っていました。</p>
		

令和 2 年 1 月 23 日 (木)		天気 雨
行事		<写真のコメント>
<p>最近、小麦粉粘土遊びが子どもたちの中で盛り上がりつつあるので、その材料を準備してみました。カップに水を少々お、皿に小麦粉を入れて置いておくと、それに気づいたお友だちが小麦粉を触り始めました。「ふわふわや」と手を真っ白にしなが感触を楽しんでいました。そしてカップに入っている水を見つけたと、少しずつ水を入れては指で混ぜていきました。隣に座ったお友だちは、水の入ったカップにぎゅって粉を入れてから混ぜていきました。「ねばねばや」「すらいむみたい。」「べたべたするなあ」という感想が聞こえてきました。少し扱いにくそうな様子でしたが、それでも時間をかけて捏ねていくと少しずつまとまって、丸くなってきました。「見て、できた。」「粘土と同じような感触になってきた事に気が付き、満足そうに教えてくれるお友だちがいました。その後は小さい丸をたくさん作ったり、ローラーで伸ばして平たくしたりと楽しんでいました。</p>		<p>(左)ミカンの皮で作った動物を掲示してみると、「こんなんするー」と皮に顔を描き「ぞうさん、たべよ」「ほくはおはな」と楽しそうに話しながらミカンを頬張っていました。(真ん中)小麦粉と水を練って小麦粉粘土を作り、粘土遊びを楽しみました。(右)お部屋ではダンスをしたり、電車ごっこをして遊びました。また、雨が降っているのを窓から眺めて「あめ、いっぱいや。しゅーできやんわ」と公園に出掛けられないのを残念がっていました。</p>
		

令和 2 年 1 月 24 日 (金)		天気 曇 り
行事		<写真のコメント>
<p>節分にちなんだ掲示物を見つけて「うわあ〜！鬼やん。」「がおー！」と掲示してあった鬼のお面を顔に当て、お友だちとのやり取りを楽しむ姿があったので、鬼のぬりえと色鉛筆を準備し、机の上に置いてみました。すると…鬼のお面を机の上に持ってきて「これと一緒に青にするの」と話ながらいろいろぬりを楽しむ姿がありました。いろぬりをした鬼のぬり絵を顔に当てて「見えやんやん」との声が聞こえてきたので、ぬり絵の目部分をくり抜いてみました。鏡の前でぬり絵を顔に当てて「うわあ〜！鬼になったよ。見えるね〜と覗き込んでいました。「こわいぞ〜」とお友だちとのやり取りを楽しんでいました。節分の絵カードにある「升」を準備し、置いてみました。絵カードには豆の入った升が載っているのに、実際置いてある升には豆が入っていません。豆が入っていないのに早速気が付いたお友だちがいました。「これ、入ってないやん」こんな声が聞こえてきたので、用意しておいた豆を出してみました。「あつた〜！こに入れて」と升を持ってきて豆を入れる様子に興味津々。一粒手に取り「いいにおいするよ」とお友だちと会話する姿が見られましたよ。前日の小麦粉粘土を楽しんでいたおともだちが「コロコロするの貸して〜」とお友だち同士で「貸して〜」と順番にローラーを使って平らに伸ばしていた姿から、麵棒を用意してみました。少し大きめの綿棒でしたが両手を使ってコロコロと転がし、小麦粉粘土を平らに伸ばしていましたよ。伸ばした小麦粉粘土を今度は、まあるく丸めて、お椀の中に入れて「こはんできましたよ〜！」とやりとりする微笑ましい姿が見られました。</p>		<p>(左)升に豆を入れたり、匂いを嗅いでみたりと興味津々。匂いを嗅いで「いいにおいするよ」と嬉しそうに話していました。(真ん中)鬼のぬり絵を用意してみると…掲示してあった鬼のお面を持ってきて「これと一緒に青にするの」というぬりを楽しんでいました。(右)麵棒を置いておくと、コロコロ転がして小麦粉粘土を平らに伸ばしていましたよ。</p>
